

実習多いカリキュラムで実践力つける

2023年度新設。業界から選抜科目撤廃で新カリキュラム編成

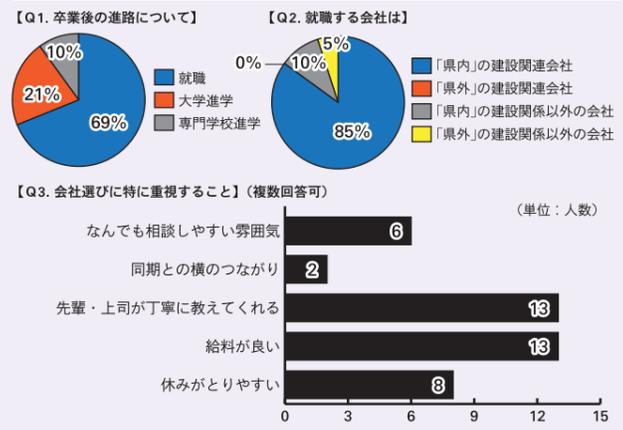
浦添工業高校の建築科は、昨年度新たに開設された。同校では家具製作が中心だったインテリア科があるが、建築科では、設計、構造、施工、法規など建築に関する基礎的な知識のほか、実習では木材加工や鉄筋型枠、など実践的な技術を学べ、卒業後には2級建築士の資格を取得できる。建築科の喜瀬達也教諭は「昨今の人手不足により建設業界の働きかけにより新設され、周りからの期待も大きい」と話した。

入学 建築科1期生となる1年生

は男子生徒が23人、女子生徒が6人在籍。主に浦添・宣野湾・北谷など中部出身の生徒が多い。喜瀬教諭は「想定より入学した生徒が少なく、アピール不足を感じていたが、生徒一人ひとりに目が行き届き、指導しやすい。親族が建設関連の仕事に従事しているなど、もともと建築分野に興味がある生徒が多い」と話した。「これまで地理的に通うのが難しい地域の生徒が浦添工業に建築科ができたことで入学できたことは大きな意味がある」と新設の意義を強調した。

まだ実績がない建築科だが、昨年12月にはものづくり大会に建築科の生徒2人がチャレンジ。また資格取得に向けても動き始め、建築大工の技能検定を授業を通して取得を目指すほか、2級建築施工管理技士補などの資格を放課後や夏休みに講座を開き、資格取得のサポートを行っていく。喜瀬教諭は「生徒たちには建築科の新しい伝統をつくっていくことに期待し、指導者として生徒たちをサポートしていきたい」と期待を寄せた。

建築科のみんなに聞いた どんな未来を描いてる？



- 【あなたにとって建設業は】
- ・キツそうだが楽しそう
 - ・人手不足なので就職しやすい
 - ・コミュニケーションが大切な仕事
 - ・自慢できる仕事
 - ・男性社会
 - ・夢のある仕事
- 【将来の夢や目標、建設業以外に興味のある仕事は】
- ・発展途上国に行ってインフラ整備のボランティアがしたい
 - ・自分の家を作りたい
 - ・デザイナーになりたい
 - ・趣味の筋トレを続けて心身ともに頼りになる大人になる
 - ・配管工の仕事に就きたい



CADに取り組む生徒

教えて！学科の推しポイント！

1年の(左から) 島仲泰輝さん、新里志恵さん、佐敷帆風さん



—建築科に入学したきっかけは

新里さん：建物を見るのが好きで、建築に興味を持っていた。浦添工業高校に建築科が新設したことを知って1期生として頑張りたいと思い入学しました。

佐敷さん：私は父と祖父が建設関係の仕事をしている影響で、建築に関する知識や技能を身に付けたいと思い建築科を選びました。

島仲さん：祖父が建築関係の経営者で、幼い頃から釘を打ったり木工を楽しんでいたため、将来建築に関する仕事に従事したいと思いました。

—学科の自慢は

島仲さん：男女関係なく仲が良く、いつも笑いの絶えず楽しいです。

—好きな教科は

佐敷さん：建築計画が好きで今回楽しみにしています。

—進路について

新里さん：大学進学を考えています。

佐敷さん：どの進路が自分にとってベストかこれからの学校生活を通して考えたいと思います。

島仲さん：就職を考えていますが、これからの高校生活でさらに学びたいと思ったら進学など別の進路を考えたいです。

—将来の目標や夢は

新里さん：一級建築士が目標です。

佐敷さん：在学中になるべくたくさん資格を取って仕事で知識や技術を活かしたいです。

島仲さん：設計士になることが夢なので、在学中に得た知識を活かしたいと思います。